

し しん そう おう みやこ  
～四神相応の京～

# 京都五社めぐり

げん ぶ 東に蒼龍  
北に玄武  
びやっ こ 南に朱雀  
西に白虎

京の四方と中央を守護する五つの社。  
四季折々に表情を変えるそれぞれの社をつなぎ、  
その魅力をじっくり探る「五社めぐり」。  
さあ、あなたも千年の歴史の都へ――。



賀茂別雷神社



平安神宮



八坂神社



城南宮



松尾大社





【五社めぐり四神色紙】



最初にお参りした神社で色紙を受け、五社全てのご朱印をいただいて満願になると、「オリジナル記念品」の授与(先着計1,000名)があります。(詳細は裏面をご覧ください)

※色紙初穂料1,000円、朱印料各300円

# 京都五社めぐり

## 四神相應の京

千年にわたって続いた京の都は、「四神相應」と讃えられています。方角を司る「四神」、すなわち玄武(北)・蒼龍(東)・朱雀(南)・白虎(西)が守護する土地として、ここに都が造営されたのです。

うらうらと朝日が昇る東山の麓に八坂神社、広々とした桂川を渡った西に松尾大社、水清き賀茂川が流れ出る北に賀茂別雷神社(上賀茂神社)、鴨川と桂川が出合う南に城南宮。そして、平安神宮の建物は、平安京の大極殿さながらに建てられ、東に「蒼龍楼」、西に「白虎楼」がそびえます。

古来より人々は都の要所要所に鎮まるお宮に祈りを捧げ、それに応じて神々は人々の暮らしを守り、願いを聞き届けて来られました。四季の祭礼行事と美しい自然に彩られた京都のお社を巡れば、神々の息吹に触れ、清々しい気持ちになります。元気をもらいに平安京にゆかりの深い神社にお出かけください。そして神様のご加護の印のご朱印を集めてみてはいかがでしょうか。

## 世界文化遺産 賀茂別雷神社

通称上賀茂神社。平安遷都以来、皇城鎮護の神・山城国一の宮として朝野の崇敬を受け「千年の都」京都の中でも最も歴史のある神社である。境内地二十三万坪には、文久三年(一八六三)造営の国宝「本殿・権殿」をはじめ、寛永五年(一六二八)造営の重要文化財建造物が立ち並ぶ。平成六年には境内全域が「古都京都の文化財」の一つとして世界文化遺産に登録された。この社殿群のほとんどが江戸期の造替であるが、現在に至るまで往古の姿を受け継いでおり、いにしへの京都へと参拝者をいざなう。

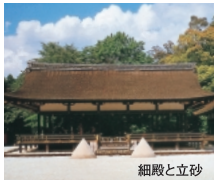
細殿前に並ぶ一対の円錐形の立砂(写真)は、神代の昔、賀茂別雷神大神がご降臨された秀峰神山を形取ったものである。五月十五日の「葵祭」は、「源氏物語」等の文学作品にも登場し、当時「まつり」といえば葵祭であった。平安装束に身を包んだ五百名以上の行列が京都御所を出発して上賀茂神社まで進む路頭の儀は、王朝絵巻さながらに雅やかである。

【由緒】  
京都最古の神社で、社殿造営の記録は七世紀にまで遡る。ご祭神は賀茂別雷神大神。平安遷都以降は天皇の行幸や上皇の御幸、貴族や武士の社参が相次ぐ。現在でも厄除・方除・電気産業の守護神として広く信仰される。小倉百人一首の「風よぐならの小川の夕暮れはみそぎぞ夏のしなりける」(藤原家隆)は境内「ならの小川」で詠まれた。



詳細情報

- 拝観** 境内自由、特別拝観は10:00~16:00(神職の案内のもと、内庭にて参拝できる。初穂料1人500円)
- 所在地** 京都市北区上賀茂本山339
- 電話** ☎075・781・0011
- URL** <http://www.kamigamojinja.jp/>
- 交通** ・地下鉄烏丸線「北大路駅」より市バス北3「御園口町」下車徒歩3分・市バス37「上賀茂御園橋」下車徒歩3分・JR「京都駅」より市バス9「上賀茂御園橋」下車徒歩3分



細殿と立砂

## 酒造の神様 松尾大社

「酒造の神様」として信仰を集める松尾大社は、背後の松尾山を含む約十二万坪が境内。社務所の裏にある神泉「亀の井」は、酒造家が酒の元水として造り水に混ぜて用い、長寿よみがえりの水としても知られる。拝殿南側には全国の酒造家が奉納した酒樽が積み上げられ、信仰の篤さ何える。重要文化財の本殿は、松尾造りと呼ばれる特殊な両流れ造りの建築で、応永四年(一三九七)の建造。天文十一年(一五四二)に大修理された。宝物館には、平安時代初期の作で我が国最古と言われる三体の神像(重要文化財)を所蔵する。

四月には約三千株の山吹が咲き、関西一の山吹の名所でもある。昭和を代表する作庭家、重森三玲氏による庭園「松風苑」は、徳島県吉野川産の青石を二百個余り縦組みした庭など、永遠のモダンをテーマとした三つの庭からなる。「上古の庭」のスケールの大きさに宇宙的な広がりさえ感じるほどだ。

【由緒】  
京都最古の神社の一つで、太古の地に住んでいた人々が松尾山の神霊を生活の守護神として祀ったことが起源。大正元年(一七〇)に秦氏一族がその神霊を勧請し、現在の地に神社を建立した。平安時代には上賀茂、下鴨両神社とともに皇城鎮護の社とされた。ご祭神は大江山神(おまやまのいかの)と中津島姫命(なかつしまのひめのみこと)。



©水野克比古

詳細情報

- 拝観** 境内自由、庭園 8:30~16:00(日・祝日は16:30) 拝観料(宝物館含む)大人500円、学生400円、小人300円
- 所在地** 京都市西京区嵐山宮町3
- 電話** ☎075・871・5016
- URL** <http://www1.newweb.ne.jp/wa/matsuo/>
- 交通** ・阪急嵐山線「松尾駅」下車徒歩3分・JR「京都駅」より市バス28・京都バス73「松尾大社前」下車徒歩3分



山吹



# 日本文化のおや神様 平安神宮

見上げるように大きな鳥居から参道、社殿へと王朝時代の華やかさが薫る平安神宮は、平安遷都一〇〇〇年を記念して明治二十八年（一九一五）に創建された。まぶしいほどに輝く境内の白砂に映える鮮やかな朱色の社殿は、平安京大内裏の正庁、朝堂院を約八分の五に縮小して復元されたもので、往時の華やかさをしのばせている。

社殿を取り囲むように広がる神苑は総面積一萬坪という広大な池泉回遊式庭園で、明治から昭和にかけて円山公園など東山一帯の名園を手がけた庭師、「植治」こと七代目小川治兵衛の作。春の八重紅枝垂れ桜、二百種二千株が咲きそろそろ初夏のハナシヨウブなど、四季折々の草花が庭を彩る。

十月二十二日の「時代祭」には二千人に及ぶ人々が奉仕し、京都千年の歴史と文化をたどる時代絵巻が繰り広げられる。行列に使用される調度・衣装・祭具は、京都の伝統工芸技術の粋を集めて復元された本物である。

【由緒】明治維新で都が東京に移り、衰退していた京都復興への市民の情熱により、平安京を定めた第五十代桓武天皇を「祭神」として創建された。その後昭和十五年（一九四〇）に平安京最後の天皇、第百二十一代孝明天皇が合祀されて「日本文化のふるさと京都」のおや神様として広く崇敬を集めることになった。



## 詳細情報

- 拝観** 境内自由  
神苑 8:30~18:00(季節により異なる) 大人600円、小人300円
- 所在地** 京都市左京区岡崎西天王町
- 電話** ☎075-761-0221
- URL** <http://www.heianjingu.or.jp/>
- 交通** JR「京都駅」、阪急京都線「河原町駅」よりバス5地「京都会館美術館前」下車すぐ  
地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分



八重紅枝垂れ桜

# 祇園祭の神社 八坂神社

明治維新まで「祇園社」と称されていた八坂神社は、今も「祇園さん」と呼ばれ親しまれている。四条通の東端にある西楼門(重要文化財)は京都観光のシンボルのな存在。鎌倉時代の絵図には、本殿(重要文化財)とともにほぼ現在に近い姿が描かれている。七月の「祇園祭」では一月間にわたって疫病退散を祈願する様々な神事・行事が行われ、特に華麗な山鉦巡行、勇壮な神輿渡御が有名。また火繩をくるくると回しながら「神火をもち帰る」を「けら詣」は、年末年始を代表する京都の風物詩となっている。

「祭神の素戔嗚尊は、日本で初めて三十一文字の和歌を詠み、和歌神としても崇められている。それにちなんで、毎年一月三日には十二単姿の姫たちによる「かるた始め」が開催される。境内の「美御前社」は「美の神」として女性に人気。社殿前に湧く「神水」は肌の健康を守る、知る人ぞ知る「美容水」である。

【由緒】素戔嗚尊(すさのおのミこと)、櫛稲姫命(くしいなひのみこと)の三座の神を祀る。社伝によると、その歴史は平安遷都の約五十年前の天明天皇二年(一六五六)に始まる。都の発展とともに全国から崇敬を集め、現在も日本各地に約三千の分社が存在している。本殿は、全国最大の神社本殿建築である。



## 詳細情報

- 拝観** 境内自由
- 所在地** 京都市東山区祇園町北側
- 電話** ☎075-561-6155
- URL** <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/yasaka/>
- 交通** 京阪本線「四条駅」下車徒歩5分  
阪急京都線「河原町駅」下車徒歩8分  
JR「京都駅」よりバス100・206「祇園」下車すぐ



をけら詣

# 家づくりの守り神 城南宮

木々の緑に朱の鳥居が清々しい城南宮は、平安遷都の際、守り神として皇城・都の南に創建され、「方除の大社」と仰がれる。方除とは、方角の災いを取り除くことで、新築や増築、引越、旅行や車の安全、家庭円満を願って多くの人が訪れ、巫女が舞う神楽の鈴の音がさやさやと鳴り響いている。

平安時代後期、この地に築かれた鳥羽離宮は方違の宿所や熊野詣出立の地に選ばれ、方除の信仰が高まった。また、歌会や舞楽、舟遊びや流鏑馬が行われ、王朝文化が花開いた。

優美な佇まいの社殿は平安後期の様式で統一され、広大な神苑「源氏物語」花の庭」では、春と秋に「曲水の宴」が雅やかに行われる。遣水や池のほとりに、椿・枝垂れ梅・桜・つじ・藤、秋には、萩・おみなえし・藤袴・菊など「源氏物語」ゆかりの植物が可憐に咲き、お茶席では抹茶も味わえる。珍しい八角形の方角お守りや、清めのお砂を錦の袋に入れたお守りは、通勤の方角や家の間取りが気になる人にお勧め。

【由緒】国土守護の国常立尊(くにのこゝろのたまのミこと)、武勇に秀でた八千矛神(やちひのこゝろのたまのミこと)、安産と育児の神様神功皇后(じんこうこうごう)を祀る。院政が行われた鳥羽離宮の守護神として祭礼も賑い、十月の城南祭の神輿渡御は見ごたえがある。明治維新を告げた鳥羽・伏見の戦いの後、官軍が勝利のお礼参りをした。「菊水若水」は病氣平癒の靈験で知られる。



## 詳細情報

- 拝観** 境内自由  
神苑 9:00~16:30(受付16:00まで) 大人500円、小人300円
- 所在地** 京都市伏見区中島鳥羽離宮町
- 電話** ☎075-623-0846
- URL** <http://www.jonangu.com/>
- 交通** 地下鉄烏丸線・近鉄「竹田駅」下車徒歩15分  
京阪本線「中書島駅」よりバス南3「城南宮東口」下車徒歩3分・市バス19「城南宮」下車すぐ



曲水の宴



# Kyoto gosya meguri

## 京都五社めぐり

### マップ

#### 賀茂別雷神社の周辺散策① 社家町

社家とは上賀茂神社の神職を世襲していた家柄。神社から流れ出る明神川沿いに、土塀の続く住宅が立ち並び、川の水を邸内に引き入れた池と曲水川（西村庭園）を中心とする独特の造りが特徴。

#### 平安神宮の周辺散策 京都市美術館

平安神宮周辺は、琵琶湖疏水沿いに美術館や図書館が集まる一大文化ゾーン。大鳥居の東にある京都市美術館では所蔵品展を始め、年間120以上もの展覧会が開かれている。

#### 八坂神社の周辺散策 円山公園

神社の東側には、枝垂れ桜の巨木が有名な円山公園が広がっている。約96,000㎡の敷地があり、池泉回遊式庭園を中心に料亭や茶店が散在し、四季折々の情緒がある。



#### お車での場合

- 平安神宮  
名神高速「京都東I.C.」より西へ、三条通経由、約20分  
P市営岡崎公園地下駐車場500台（1時間500円）
- 八坂神社  
名神高速「京都東I.C.」より西へ、三条通経由、約20分  
名神高速「京都南I.C.」より東北へ、東大路通経由、約20分  
P50台（無料）P市営円山駐車場134台（30分250円）
- 賀茂別雷神社  
名神高速「京都南I.C.」より北へ、堀川通経由、約40分  
名神高速「京都東I.C.」より西北へ、堀川通経由、約45分  
P普通車200台（30分無料、後30分毎に100円）
- 松尾大社  
名神高速「京都南I.C.」より北西へ、四條通経由、約40分  
P100台（無料）
- 城南宮  
名神高速「京都南I.C.」より南へ、国道1号線経由、すぐ  
P200台（無料）

【五社めぐり交通ルートのご案内】 五社を参拝する際の、公共交通機関のルートの一例です。現在地を基準に目的地をご確認ください。市バスの時刻などは、<http://www.city.kyoto.jp/kotsu/> をご覧ください。

現在地	目的地	賀茂別雷神社	松尾大社	平安神宮	八坂神社	城南宮
賀茂別雷神社	市バス 4.46他「上賀茂神社前」すぐ 市バス 9.37他「上賀茂御園橋」徒歩3分 市バス 北3「御園口町」徒歩3分	市バス 46「四條大宮」または「四條烏丸」のりかえ阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分 市バス 北3「御園口町」徒歩3分	市バス 46「四條大宮」または「四條烏丸」のりかえ阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分 市バス 3「松尾橋」徒歩5分または28.29「松尾大社前」徒歩3分	市バス 46「京都都会館美術館前」すぐ	市バス 4「四條河原町」徒歩8分 市バス 37「四條京阪前」徒歩5分 市バス 46「祇園」すぐ	市バス 37.北3「北大路バスターミナル」のりかえ地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分
松尾大社	阪急京都線「大宮駅」または「烏丸駅」のりかえ市バス 46「上賀茂神社前」すぐ 市バス 3.28.29「四條大宮」のりかえ市バス 46「上賀茂神社前」すぐ	京都バス 73他「松尾大社前」徒歩3分 市バス 28.29他「松尾大社前」徒歩3分 市バス 3他「松尾橋」徒歩5分 阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分	阪急京都線「河原町駅」のりかえ市バス 5.32.46「京都都会館美術館前」すぐ または市バス 201.203「東山二条」徒歩5分	阪急京都線「河原町駅」徒歩8分 市バス 3「四條河原町」徒歩8分	阪急京都線「烏丸駅」のりかえ地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分	
平安神宮	市バス 46「上賀茂神社前」すぐ	市バス 5.32.46.201.203「四條河原町」のりかえ阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分	市バス 5.32.46.100「京都都会館美術館前」すぐ 市バス 201.202.203.206他「東山二条」徒歩5分 地下鉄東西線「東山駅」徒歩10分 京阪本線「三条駅」徒歩15分	市バス 46.100.201.202.203.206他「祇園」すぐ	(徒歩で地下鉄東西線「東山駅」へ) 地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分	
八坂神社	市バス 4.46「上賀茂神社前」すぐ 市バス 37「上賀茂御園橋」徒歩3分	(徒歩等で阪急京都線「河原町駅」へ) 阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分	市バス 46.100「京都都会館美術館前」すぐ 市バス 201.202.203.206他「東山二条」徒歩5分 徒歩20分	市バス 46.100.201.203.206.207他「祇園」すぐ 市バス 37他「四條京阪前」徒歩5分 市バス 3.4他「四條河原町」徒歩8分 地下鉄東西線「東山駅」徒歩10分 阪急京都線「河原町駅」徒歩8分 京阪本線「四條駅」徒歩5分	市バス 46.201.203.207他「四條烏丸」のりかえ地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分 (徒歩等で阪急京都線「河原町駅」へ) 阪急京都線「烏丸駅」のりかえ地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分	
城南宮	(徒歩等で地下鉄烏丸線「竹田駅」へ) 地下鉄烏丸線「北大路駅」のりかえ市バス 37「上賀茂御園橋」徒歩3分 または市バス 北3「御園口町」徒歩3分	(徒歩等で地下鉄烏丸線「竹田駅」へ) 地下鉄烏丸線「四條駅」のりかえ阪急嵐山線「松尾駅」徒歩3分	(徒歩等で地下鉄烏丸線「竹田駅」へ) 地下鉄東西線「東山駅」徒歩10分	(徒歩等で地下鉄烏丸線「竹田駅」へ) 地下鉄烏丸線「四條駅」のりかえ市バス 46.201.203.207他「祇園」すぐ または阪急京都線「河原町駅」徒歩8分	市バス 46.201.203.207他「四條烏丸」のりかえ地下鉄烏丸線「竹田駅」徒歩15分 近鉄京都線「竹田駅」徒歩15分 市バス 南1.南2.南3他「城南宮東口」徒歩3分 市バス 19「城南宮」すぐ	

満願記念品の授与 各神社で、ご朱印拝受の印を下欄にもらってください。五社めぐりが満願になると、先着 計1,000名に記念品の授与があります。

色紙 授与印 ご朱印	ご朱印 授与印	ご朱印 授与印	ご朱印 授与印	ご朱印 授与印	満願記念品授与印
---------------	---------	---------	---------	---------	----------

●満願記念品しおり●